

四国は紙國

マッチングサイト順調

商談成立など成果表れる
各企業
へのジャンプ数2千件超

(四国通信) 紙の総合マッチングサイト『四国は紙國』は、三月に開設し約半年を経過、各企業ホームページへのジャンプ数が二千件を超えた。また登録企業数、相談件数の増加など一定の成果が挙がっている。

事務局の宇摩地区キー産業振興協議会(愛媛県紙パルプ工業会内)によれば、サイトへの訪問者数は延べ九、九一二人(九月末現在)で平均四ページ強を閲覧している。サイトに登録された企業数も当初の三八社から一〇四社にまで増え、また各企業ホームページへのジャンプ数も徐々に伸びた。一部企業ではアクセス増加による問い合わせ、引き合い数が顕著となった報告も聞かれる。

内容は販路開拓関係の一五件を筆頭に、技術開発関係一一件、企業紹介関係、その他各六件で、うちすでに対応済みが商品開発・販売など商談成立六件、不成立が八件、質問への回答済みが一一件などで計二五件、対応中のものが企業間で商談中八件、企業選定中が五件の一三件となった。

マッチング後商談成立や試作段階までの進捗状況(企業承諾項目のみ)は、①天然鉱物剤を塗布した機能紙(セシウム除染、PM2.5、花粉などを吸収する不織布)を使用してマスク・フィルターなどを共同開発・製造②貼り箱・組箱などの各種ギフト箱を共同開発・製造③茶葉の粉末を配合したドライクレープ紙の製造④炭素繊維を練り込んだ混抄紙の製造⑤寺社などで古くなった椀皮を粉碎して配合した紙の製造などがあり、今後も登録企業の拡大を図りたいとしている。